

* 建設コンサルタントについて *

● 建設コンサルタントとは……

建設コンサルタントは、社会資本整備の中で主に調査・計画・設計等の業務において、事業者の必要な社会インフラを整備することを支援する「パートナー」として、技術のノウハウを提供しています。

● 建設コンサルタントの役割とは……

近年事業執行にあたっては、社会資本整備を取り巻く状況が大きく変化してきており、事業者が住民とのコミュニケーションや、住民への説明責任を十分に果たすことが求められています。

これにより建設コンサルタントは、事業者を支援する従来の役割に加え社会的合意形成や、事業執行のマネジメントを事業者に代わって担当する役割、また、第三者の立場で設計審査施工管理を実施することなどが必要になってきています。

建設コンサルタントは、このような役割を独立した責任ある立場の専門集団として、社会資本の事業執行に適切に参画することが求められています。

● 建設コンサルタントの分野は……

1	河川、砂防及び海岸・海洋	8	農業土木	15	土質及び基礎
2	港湾及び空港	9	森林土木	16	鋼構造及びコンクリート
3	電力土木	10	水産土木	17	トンネル
4	道路	11	廃棄物	18	施工計画、施工設備及び積算
5	鉄道	12	造園	19	建設環境
6	上水道及び工業用水道	13	都市計画及び地方計画	20	機械
7	下水道	14	地質	21	電気電子

● これからの建設コンサルタントとは……

建設コンサルタントは、社会資本整備を取り巻く環境が大きく変化する中で、これまでの蓄積した技術・知識・人材等のノウハウを最大限に活用していきます。そして、技術開発を積極的に行い、様々な領域で責任ある立場で活躍することにより、社会資本整備の推進に貢献していきます。